■平成26年度上半期特別会計・企業会計予算の執行状況

市の会計には、一般会計のほか、国民健康保険のように特定の人たちの相互扶助を目的とした事業や下水道事業など特定の収入を特定の支出に充て運営する特別会計と民間の会社のように、その事業の収入で支出をまかなう「独立採算」の企業会計があります。

企業会計の状況

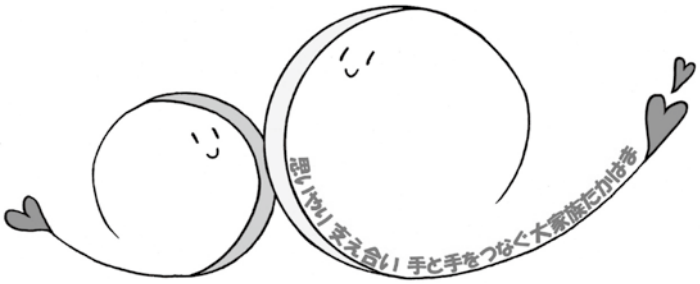
区分		予算額	収入・執行額	収入・執行率
収益	収入	8億4,377万円	4億1,053万円	48.7%
	支出	6億9,500万円	2億6,470万円	38.1%
資本	収入	7,956万円	3,314万円	41.7%
	支出	3億6,699万円	4,770万円	13.0%

特別会計の状況

区分	予算額	収入済額	収入率	執行額	執行率
国民健康保険事業	35億3,746万円	14億2,367万円	40.2%	14億5,119万円	41.0%
土地取得費	4,925万円	7,184万円	145.9%	2,977万円	60.4%
公共下水道事業	14億9,396万円	1億4,731万円	9.9%	5億4,718万円	36.6%
公共駐車場事業	3,453万円	6,471万円	187.4%	674万円	19.5%
介護保険	24億6,572万円	10億9,142万円	44.3%	9億5,237万円	38.6%
後期高齢者医療	4億6,296万円	1億3,693万円	29.6%	7,275万円	15.7%

■市有財産の状況

土地	488,699㎡
建物	123,677㎡
有価証券	7,587万円
出資	4,208万円
債権	7億2,890万円



わかりやすい財政のはなし【市債（借金）】

どうして借金してまで事業をするの？
借金せずに一括で払った方が利子がつかなくていいんじゃないの？

市債、つまり借金には、「現在の市民と将来の市民の負担を公平にする役割」と「毎年の財源を平均する役割」があるんです。

公共施設などの整備には多くのお金が必要になるので、一度に払ってしまうとその年の他の事業ができなくなってしまいます。

また、公共施設は現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、市債（借金）を活用して平等に費用の負担をお願いしています。

問合せ先　㊢財務グループ　☎52-1111（内線306）